高校 | 年 数学I

図形と計量 ~ベストなスロープの提案~

学校全体の取組

「主体的・対話的で深い学び」 の視点に基づく授業改善

単元の流れ

新しく得た知識、他者と協力して得た学び、社会や自らの生活、他の分野等とのつながりに気付いたこと、 疑問に感じたことのそれぞれについて毎時間記録させる。更に、個に応じた数学的活動を充実させ自らの考え をわかりやすく説明したり表現し合ったりする資質・能力を育み、学ぶ意欲を高める。

第丨時

- 三角比を学ぶ意義に ついて考えることを通 して学ぶ意欲を高める。
- ② 授業の進め方を知り、 学びの見通しを持つ。



単元のポイント

- ① 複数の学習形態に取り組む中で考えを分かりやすく説明した り表現し合ったりする。
- ② 新しく得た知識、他者と協力して得た学び、社会や自らの生 活,他の分野等とのつながりに気付いたこと,疑問に感じた ことについて毎時間記録し、自らの学びを振り返る。



記録事項をまとめ、 発表することを通して. 表現力を身に付ける。 また. 他者の発表から 新たな視点を獲得し, 自らの変容に気付き, 学ぶ意欲を高めること につなげる。

- ① 授業の進め方を把握し、見通しを 持って学習に取り組めるようにする。
- ② 具体的に振り返りの視点を示すこ とで、主体的に学習に取り組めるよ うにする。

【振り返りの視点】

- ・新しく得た知識
- ・他者と協力して得た学び
- ・社会や日常,他分野とのつなが りに気付いたこと
- ・疑問に感じたこと
- ③ まとめや発表を通して、論理的に 説明する力や表現する力を伸ばすこ とができるようにする。

指導項目

※学習指導要領(平成30年告示)解説数学編に基づく イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ)図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事 象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振 り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察した りすること。

評価について

授業で用いた振り返りシート、学習形態ごとの活動の様子についての見 取りを基に、数学的活動を通して論理的に説明・表現しようとする力、授 業に見通しを持って取り組もうとする力について評価する。

目指す児童生徒の姿

- ○主体的に問題解決に取り組むことができる。
- ○論理的に説明・表現することができる。
- ○自らの学びを振り返りより良くすることが できる。

高校 | 年 数学 I

図形と計量 ~ベストなスロープの提案~

学校全体の取組

「主体的・対話的で深い学び」 の視点に基づく授業改善

授業の流れ

授業のポイント

それぞれのグループにおいて生徒自らの日常にある「段差」に気付き、実際に「段差」を測定したうえで授 業に臨み、それぞれが測定した場所に最適なスロープを考案・発表する。発表内容や発表、まとめの際に班員 やクラスの合意を形成する中で、生徒が数学的な表現や説明ができるように導く。



- ① 三角比の基本事項につ いて. 既習事項を確認 する。
- ② 本時の目標を確認する。
- ③ 本時の進め方を確認し, 見通しを持つ。



- ① グループで測定した場所に最適なスロープを考える。
- ② グループで考案したスロープの利点を数学的な表現を用いて 説明できるよう考える。
- ③ グループの代表者による発表を聞いて三角比のよさについて 考察する。



「振り返りシート」に 学習事項や感想等を記録 することを通して、新 たな視点の獲得や自ら の変容に気付き、学ぶ 意欲を高めることにつ なげる。

- ① 授業の進め方を把握し、見通しを 持って学習に取り組めるようにする。
- ② 具体的に振り返りの視点を示すこ とで、主体的に学習に取り組めるよ うにする。

【振り返りの視点】

- ・新しく得た知識
- ・他者と協力して得た学び
- ・社会や日常,他分野とのつなが りに気付いたこと
- ・疑問に感じたこと
- ③ まとめや発表を通して、論理的に 説明する力や表現する力を伸ばすこ とができるようにする。

指導項目

※学習指導要領(平成30年告示)解説数学編に基づく イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ)図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事 象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振 り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察した りすること。

評価について

授業で用いた振り返りシート、学習形態ごとの活動の様子についての見 取りを基に、数学的活動を通して論理的に説明・表現しようとする力、授 業に見通しを持って取り組もうとする力について評価する。

目指す児童生徒の姿

- ○主体的に問題解決に取り組むことができる。
- ○論理的に説明・表現することができる。
- ○自らの学びを振り返りより良くすることが できる。